

11月

月間指導計画

4歳児



保育目標		作品展に向けて、一人ひとりが自分なりの表現を楽しみ、作品作りに取り組む。 グループでの活動や、ルールのある遊びを通して、仲間と一緒に協力しようとする。			
子どもの姿		運動会を経験したことで、仲間と協力して何かをやり遂げる喜びを感じている。 友だちの様子に関心を持ち、自分からかかわろうとしている。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	スリッパを並べるなど、マナーを考えながらトイレを使用しようとする。	スリッパの並べ方や、トイレトペーパーの使い方などを知らせておく。 次に使う人のことを考えられるよう、話し合う機会を持つ。	お互いに注意し合いながら、意識してトイレでのマナーを守ろうとする。	1週間など無理のない期間で振り返り、達成できたことが分かるよう、シールや目印などを使い、楽しみながらクラス全体での目標にする。
	情緒	グループでの活動を通して、仲間とできる喜びを感じる。	席をいつも同じ場所にしたり、グループ名を決めるなど、普段からグループでの活動を意識できるようにする。	食事前の挨拶を通して、グループ活動に自信を持って取り組もうとする。	恥ずかしがる子もいるので、個々の性格の偏りが無いようグループを決めておく。 自信を持って取り組めるよう、できたことを褒め、自信につながるようにする。
教育	健康	手洗い・うがいを通して、風邪の予防に気がつく。	手洗い場に正しい手洗いの順番を掲示して、手を洗うたびに意識できるようにする。	風邪の予防について朝の会などで話を聞き、自分の知っていることを伝えたりして認識しようとする。	自分から手洗い・うがいをしたり、知っていることを伝えられたことを認めて、風邪の予防を意識できるようにする。
	人間関係	じゃんけんの勝ち負けなど、簡単なルールの中で遊ぼうとする。	遊びの中で、じゃんけんで順番を決めるなど取り入れる。 爆弾ゲームなど、簡単なルールのある遊びを取り入れる。	負けたことを悔しがる子もいる。	悔しい気持ちを受け止め、気持ちが落ち着くように言葉をかける。 ルールを確認し、次に期待が持てるようにする。
	環境	季節の移り変わりを感じ、違いを発見する。	様々な事象が目向けられるよう、戸外遊びを多く取り入れる。 夏と秋の写真を掲示するなどして、違いに気がつく工夫をしておく。	気がついたことを友だちや保育士に話し、共有しようとする。	自信を持って生活できるよう、自分の思いを伝える場面を増やしていく。
	言語	時間の感覚が分かり、過去と未来について話ができるようになる。	昨日の家庭の様子を聞いたり、作品展があることなど、積極的に会話の中で過去と未来を意識できるようにする。	保育士や友だちとの会話で、昨日食べたものや、週末の予定を話しながら、楽しむ様子が見られる。	手作りの日めくりカレンダーなどを用意して、曜日に興味を持てるようにしておく。
	表現	廃材を使って自分なりの表現を楽しみながら、作品を作ろうとする。	それぞれの思いが具体的な形になるように、提案をしながら個々の作りたいものを実現できるようにする。	どの様な材料を使うか悩む子がいる。 自分の思いを保育士に話し、積極的に作品を作ろうとする。	普段の会話の中で、個々の関心のあることを理解しておき、作品作りに生かせる提案ができるようにする。 廃材を使うことをおたよりで配布しておく。
食育	食事のマナーを意識しながら食事をとる。	話すときは口の中の食べ物を飲み込んでからなど、食事のマナーを伝える。	友だち同士で、食事のマナーについてお互いに注意し合っ て、マナーを守ろうとする。	配膳の際にも、皿の配置など正しい位置があることを伝える。	
健康・安全	寒暖差が大きいため、自分から意識して風邪を予防できるよう、健康に関する絵本を絵本棚に用意したり、手洗いの手順を分かりやすく図で描いたものを掲示する。				
保護者支援	作品展では、廃材を使った作品を作ることをおたよりで知らせ、保護者の方に廃材集めのご協力をお願いする。				